

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	露語第一(再履)		
英文授業科目名	Elementary Russian I		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	熊野谷 葉子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nakagawa-kumanoya@cnc.jp	

【主題および達成目標】
1) ロシア語が、日本語や英語と違うどのような特徴を持っているか説明できること。 2) 露和辞典をひくことができ、辞書を使えば簡単なロシア語の文章が読めること。 3) 参考書や辞書がなくても、自己紹介や簡単な会話ができること。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
教科書：桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社） 辞書：露和辞典なら何でもいいが、初心者には、米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）、『博友社ロシア語辞典』が使いやすい。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初の数回はロシア語の文字と発音に慣れることに費やす。
その後は基本的に教科書の流れに沿って文法を学びながら、適宜ビデオ教材等を用いて簡単な会話の練習を行う。辞書を使いこなすことが一つの目標なので、授業には毎回必ず露和辞典を携帯すること。
学期の終わりにはロシア語のごく基本的な文法構造が分かっているようにしたい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- ・いかなる理由であれ、出席率が半分に満たない学生には単位取得は認められない。
- ・授業時間の終わり10分程度を使って毎回100点を満点とする小テストを行い、その得点を学期末に平均する。
- ・学期の最終授業を使って100点を満点とする学期末試験を行う。上記の小テストの平均点とこの試験の点数を足して2で割り、その得点をそのまま成績評価とする。

【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業内容に関する質問は授業中に適宜すること。
- ・授業と直接関係しない、あるいは授業の流れを妨げるかもしれないと思われる質問や相談は、授業後かメールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

ロシア語はアルファベットが多少とつきにくいかもしれませんが、それだけに、辞書がひけるようになると達成感があって面白い言語です。映像や音声資料をなるべく多く使って、今のロシアに関する情報も盛り込みながら楽しく勉強したいと思います。

【その他】